

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

市区町村名 勝央町

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

| 実施自治体名 | 課題の類型1 | 課題の類型2 | 背景・現状・課題の詳細 | 左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組 | 左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組 | 本事業で達成する目標（アウトカム） | 目標の達成度を測る指標 | 現状の数値 | 単位 | 本年度の目標値 | 本年度の実績値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等） |
|----------|-----------|-----------------|--|--|---|--|----------------------|-------|----|---------|---------|--|
| 33622勝央町 | ①学校運営上の課題 | 01 教職員の時間外勤務の是正 | 町内の教員の約40%が月45時間以上の時間外勤務を行っていることが課題となっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・推進員による、地域と学校との積極的な連絡調整 ・推進員や学校応援ボランティアによる、登下校の見守りやあいさつ運動 ・推進員や学校応援ボランティアによる、環境整備等の活動 ・推進員や学校応援ボランティアによる、校内への積極的な立ち入り | <p>推進員が積極的に地域と学校に関わり、教員の業務負担の軽減を図った。また、推進員だけでなく、多くの学校応援ボランティアが、例えば「登下校時の見守り活動」や「音遊び体験会」などの活動に関わった。</p> <p>しかし、現状では教職員の時間外勤務を大きく改善(是正)するには至っていない。教員が本来担うべき業務(学習指導、生徒指導等)に集中できるよう、地域と学校の連携・協働を深化させていきたい。</p> <p>なお、当町では、学校応援ボランティアの高齢化、固定化が課題となっており、登下校時の見守り活動等の活動にも影響をきたしつつある。各種広報活動等を通じて、「学校を地域で支える」という意識の醸成を図ることも、今後の課題として取り組んでいきたい。</p> | 地域と学校が連携し、推進員や学校応援ボランティアの立場として教員をフォローし、業務負担を減らす。 | 月45時間以上時間外勤務を行う教員の割合 | 32 | % | 29 | 41 | 02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 推進員が地域と学校の連絡調整等を担い、また、推進員や学校応援ボランティアが登下校の見守りやあいさつ運動、環境整備等を行ったが、教員の業務負担軽減への貢献度は低かった。次年度以降も引き続き、学校運営協議会などで地域学校協働活動や推進員の役割について考える場を設け、地域と学校の連携・協働を推進し、学校が地域を頼り、地域が学校をフォローできる体制づくりに努める。 |